

# 平成 27 年度コミュニティソーシャルワーク事業 実績報告書

## 1. 総合的福祉相談（詳細は別紙）

	27 年度	26 年度
個別相談支援（延べ件数）	6,706 件	5,809 件

### （1）個別相談支援

#### [相談方法]

	27 年度 延べ件数	26 年度 延べ件数
電 話	3,408 件	2,731 件
訪 問	1,219 件	1,101 件
来 所	732 件	830 件
相 談 会	154 件	205 件
出先にて	828 件	611 件
そ の 他	365 件	331 件
合 計	6,706 件	5,809 件

#### [対象者]

	27 年度 (延べ件数)	26 年度 (延べ件数)
0～9 歳	27 件	98 件
10～19 歳	121 件	113 件
20～64 歳	1,737 件	1,937 件
65～74 歳	1,451 件	900 件
75 歳以上	2,351 件	2,159 件
不明・団体等	1,019 件	602 件
合計	6,706 件	5,809 件

[相談内容] ※重複あり

内 容	件数	内 容	件数
高齢者	2,847 件	健康・医療・介護	1,923 件
住まい・道路・まちづくり	1,134 件	その他	1,127 件
協働・コミュニティ	814 件	障がい者	723 件
環境・ゴミ・リサイクル	521 件	子育て・教育	427 件
産業・仕事・消費生活	368 件	くらしの衛生・ペット	244 件
安全・安心	193 件	届出・証明	97 件
税・国保・年金	84 件	生涯学習・スポーツ	51 件
防災	12 件	人権・平和・男女共同参画	11 件
交通・自転車	9 件	合計	10,585 件

(2) 相談会の開催

	27 年度		26 年度	
	回数	相談者件数	回数	相談者件数
暮らしの なんでも相談会	270 回	154 件	254 回	205 件

※区民ひろば 19 か所、その他集会室等 4 か所において開催



2. 地域支援活動（地域を元気にする活動）

(1) 要援護家庭の子どもへの学習支援活動

【回数・参加者人数】

年度	27 年度			
学習会名	ちゅうりっぷ	にじいろ	あおぞら	
開催回数 (回)	23	9	30	
参加者延人数 (名)	子ども	330	246	957
	ボランテ ィア等	598	187	283
	小計	928	433	1,240
	合計	2,601		



【対象】

- ・ちゅうりっぷ学習会（東部地域）  
主に西巣鴨小学校に通っている子ども
- ・にじいろ学習会（西部地域）  
主に池袋本町小学校に通っている子ども、及び生活福祉課が支援している子ども
- ・あおぞら学習会（豊島区立千早小学校地域）

※ちゅうりっぷ学習会は、学習支援ボランティア（チーム「つばめ」）が主体となって企画運営を実施。定期的に打ち合わせ会を開催（年 16 回）

【会場】

小学校、区民ひろば、区民集会室、町会会館などを使用

【連携・協力した機関等】

小学校、区民ひろば、子どもスキップ、民生児童委員協議会、青少年育成委員会、地域福祉サポーター、生活福祉課、老人食を考える会、菊かおる園、地域住民 など

(2) 大正大学社会福祉学科サービスラーニング（体験教育）への協力

○テーマ

サービスラーニングを通して、コミュニティソーシャルワークについて考える

圏域	会場	内容	参加者数
CSW南大塚	区民ひろば仰高	・区民ひろばプログラムへの参加 ・区民ひろば事業活動への協力 ・CSW事業活動参画 ・区民ミーティング参加など	98名 ※4クラス各圏域にわかれて活動
	区民ひろば南大塚		
CSW池袋	区民ひろば池袋		
CSW富士見台	区民ひろば富士見台		
CSW千早	区民ひろば千早		

※サービスラーニングについて

1980年からアメリカで始まった教育活動の一つであり「社会活動を通して市民性を育む学習」。地域への貢献を育み、地域の結びつきを強化するもの。

(3) サロン活動等への協力及び立ち上げ・運営支援

①池袋本町一丁目町会地域見守り検討会・きずなサロン（いけよんの郷圏域）

目的	「池袋本町一丁目町会に住む方々のきずなが深まれば」という願いを込めて開催されている。町会加入に関わらず参加が可能とし、サロンを通して地域が一体となり安心・安全な生活ができることを目的としている。		
内容	地域見守り検討会では、見守りマップが完成し、半年に一回を目途に見守り対象者の情報を更新している。 きずなサロンでは、昔懐かしい映画鑑賞会、楽器演奏や歌の披露、地域のコーラス、マジック・落語の芸人をゲストに呼んだり、毎回工夫を凝らした出し物を行っている。また、ラジオ体操や輪投げで体を動かしたり、お茶を飲みながらの歓談をしている。		
実績	日時：偶数月の第3土曜日	地域見守り検討会	10時～12時
		きずなサロン	13時～15時
	会場：池袋本町第2区民集会室 回数：6回 参加者数：85名		

②きんぎょサロン（中央圏域）

目的	年齢・性別に関係なく、社会参加の場・社会貢献の場として、生きがいくりの一助を担う。地域での交流や他者とのかかわりを求めている方の居場所や仲間づくりの場として位置づける。		
内容	アームカバーやエプロン、袋物など針仕事に加え、今年度よりボランティアセンターの切手整理も作業に取り入れて、より個人のニーズにあわせたメニューで取り組んでいる。 製品はフリーマーケット等で販売し、収益は子どもの活動(今年度はNPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク)に寄付。		
実績	日時：毎週水曜日	14時～16時	
	会場：区民ひろば上池袋 回数：44回 参加者数：281名		



### ③集合住宅における茶話会（アトリエ村圏域）

目的	マンションに暮らす高齢者（特に一人暮らし）を中心に参加を呼び掛け、閉じこもりや孤立を防ぎ、住民同士の交流を通して居場所や仲間づくりの場とする。また、必要に応じてマンション住民以外の地域住民も受け入れることで、マンションと地域の住民間の交流を図る。区民ひろばを開催場所とすることで、地域に出るきっかけづくりとする。
内容	お茶を飲みながら話をしたり、折り紙で季節の物を折ったりする。また、身体を動かす機会となるよう、簡単な体操や指の運動なども毎回行っている。
実績	日時：毎月第4木曜日 13時30分～14時30分 会場：区民ひろば富士見台 回数：6回 参加者数：36名

### ④集合住宅コミュニティ活性化への支援（西部圏域）

目的	集合住宅内でのつながりが希薄化している中で、一人暮らしの孤立化や家庭の複合的な課題など、さまざまな生活課題を抱えている世帯がいる。集合住宅内の生活課題等のニーズ把握及び住民同士のつながりの活性化を目的とする。
内容	茶話会にて住民同士の交流を図りながら、集合住宅の生活課題等ニーズ把握や支援を要する世帯の実態把握も実施。個別相談も受け付けている（生活全般に関する相談…高齢者総合相談センター・CSW、都営住宅に関する相談…JKK目白窓口センター）。また、その都度、手作業等の企画も実施している。
実績	日時：毎月1回 2時間、日時はその都度調整 会場：都営住宅内集会室 回数：10回 参加者数：104名

### （4）しゃべり場朋有の実施（中央圏域）

区民ひろば朋有運営協議会と社協CSWが協働し、住民同士の話し合い、学び合いの場を設け、世代間交流や顔の見える関係づくりをおこなう。

	テーマ	内容	参加者数
第1回	災害に備える私たちの心構え～自転車の安全性・防災について考える～	巢鴨警察署から道路交通法変更による自転車事故の現状と注意喚起、社協大竹課長から災害時の心構え、グループごとに話し合い	50名
第2回	災害に備える私たちの心構え～非常食と災害時のトイレについてみんなで考える～	豊島区防災危機管理課による災害時の話、運営協議会による非常食（アルファ米、お餅、チョコレート等）の試食、豊島区民社協による「災害時のトイレについて考える」（段ボールトイレの展示紹介マンホールトイレ等、地域の防災設備の確認など）、社協災害ボランティアの活動紹介	55名
第3回	もしも東京に大地震が起きたら？	消防署から、DVDを使いながら「東京防災」の要点をわかりやすく説明、消火器の使用体験、グループごとに災害時の不安や備えについて話し合い・意見交換	50名

(5) 「学生出前定期便」への支援（菊かおる園圏域）

大正大学学生によるボランティア活動『学生出前定期便』について、相談者からの申込受付を菊かおる園圏域CSWが行い、活動を通して利用者の生活状況やニーズを把握、必要に応じて関係機関へ繋ぐ。また、活動のPRと住民と学生の交流を目的として、サロンを実施。

活動日時	活動範囲	活動内容	活動回数 (延べ)
金曜日 9時～12時 13時～17時	大正大学周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝具の移動</li> <li>・庭の草刈り</li> <li>・電球の取り換え</li> <li>・携帯電話の操作説明 等</li> </ul>	31回

【サロン】

会場	回数	参加者数	参加者属性
都営西巢鴨二丁目 アパート集会室	2回	1回目：28名 2回目：44名	地域住民、学生、地域福祉サポーター、 高齢者総合相談センター職員 など

3. 地域アセスメント

地域の実態把握、社会資源調査・ヒアリングの実施、関係機関との連携・協議を行い、地域課題の把握、新たなしくみづくり等の検討、地域支援活動を展開しました。

また、各圏域の地域アセスメントの情報を分かりやすく表した「すてきな支えあいMAP」を作成しました。



#### 4. コミュニティソーシャルワーク・フォーラムの開催（豊島区との共催事業）

当日は、民生委員・児童委員、学生ボランティアによる協力により準備が進められ、1日目は300名、2日目は250名と、北は秋田や岩手から、南は沖縄まで、全国各地から多くの方が参加しました。

また、1日目の会場内では、民生委員・児童委員協議会、地域で活動しているサロンなどのパネル展示を行い、豊島区内で行われているすてきな支え合いの活動を紹介しました。

1日目 12月12日（土）12時～16時30分 会場：としまセンタースクエア

オープニングセレモニー 混声合唱団「みみずく」

開会あいさつ 豊島区民社会福祉協議会会長 中村 丈一

#### 第一部 講演

「より健康で地域でいきいきと暮らしていける豊島区を目指して」  
豊島区長 豊島区民社会福祉協議会名誉会長 高野 之夫



#### 第二部 基調講演

「地域自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク～みんなで創る地域づくり～」  
東北福祉大学大学院教授 大橋 謙策 氏

2日目 12月13日（日）9時～12時30分 会場：大正大学3号館

#### 第三部 分科会

##### ◇第1分科会

「コミュニティソーシャルワークによる支えあいのしくみづくり」  
コーディネーター：文京学院大学人間学部准教授 中島 修 氏  
パネラー：豊中市社会福祉協議会事務局参事・地域福祉課長 勝部 麗子 氏  
なぐり広場（飯能市地域福祉推進組織）代表 松原 恒也 氏  
琴平町社会福祉協議会常務理事・事務局長 越智 和子 氏

##### ◇第2分科会

「コミュニティソーシャルワーカーの人材育成」  
コーディネーター：大正大学名誉教授 石川 到覚 氏  
パネラー：日本社会事業大学社会福祉学部准教授 菱沼 幹男 氏  
浦添市社会福祉協議会事務局長 中本 昌幸 氏  
豊島区民社会福祉協議会地域相談支援課長 大竹 宏和



##### ◇第3分科会

「社会的孤立を防ぎ地域力を高めるコミュニティソーシャルワークの展開」  
コーディネーター：大正大学人間学部社会福祉学科教授 神山 裕美 氏  
パネラー：藤里町社会福祉協議会会長・上席事務局長 菊池 まゆみ 氏  
全国引きこもりKHJ親の会代表 池田 佳世 氏  
豊島区民生委員児童委員協議会会長 寺田 晃弘 氏

#### 第四部 フォーラム最終講演

「未来を拓くコミュニティソーシャルワークをめざして」  
早稲田大学人間科学学術院教授 田中 英樹 氏